

美里町

神明社御輿渡御



美里町南郷の木間塚神明社は、天正19年
(1591)坂本俊久が主家巨理氏(涌谷伊達家)の移封
とともに木間塚村に移住した際、巨理郡坂元村から
遷座したものです。祭神はあめのみなかぬしのみこと天之御中主神とあまてらす天照
おおみかみ大御神。旧暦5月7日が祭日で、現在では6月の
第一土日に例大祭が行われます。神明社の御神輿は



「荒れみこし」として知られ、長く伝えられてきました。神社を出発した御神



輿は、ほら貝や太鼓を鳴らしながら、おみきお神酒を頂
きつつ地区を一巡し、鳴瀬川にて農期の水利を祈
るみこしときよ神輿渡御(お水取り)を行います。その後、
神社に戻ってから、担ぎ手が前後に分かれて御神
輿を押し合い、力のこもる競り合いを演じ、大い
に盛り上がります。